

平成 23 年中における自殺の状況

平成 24 年 3 月 9 日

内閣府自殺対策推進室
警察庁生活安全局生活安全企画課

平成23年中における自殺の状況 目次

第1章 平成23年における自殺の概要	1	第3章 平成23年中における自殺の分析	19
第2章 平成23年中における自殺の内訳	3	自殺者数の年次推移、月別自殺者数の推移	20
自殺者の年次比較(表1～表4)	4	男女別自殺者数と構成割合の年次推移	21
年齢別、原因・動機別自殺者数(表5)	6	男女別自殺者数の月次推移	22
職業別、原因・動機別自殺者数(表6)	7	平成23年における自殺の原因・動機別自殺者数の月次推移	23
年齢別、職業別自殺者数(表7)	8	年齢階級別自殺者数の月次推移	26
都道府県別自殺者数(表8～表12)	9	職業別自殺者数の月次推移	31
年次別自殺者数(補表1-1)	14	平成23年における被雇用者・勤め人の年齢階級別自殺者数の月次推移	32
年齢別自殺者数の推移(補表2-1)	15	平成23年における被雇用者・勤め人の原因・動機別自殺者数の月次推移	33
年齢別自殺死亡率(補表2-2)	16	平成23年5月前後の自殺日別自殺者数の推移	34
職業別自殺者数(補表3-1)	17	都道府県別の自殺者数	35
		都道府県別の自殺死亡率	36
		平成23年中における自殺の分析元データ	37

第1章 平成23年中における自殺の概要

1 総数(表1関係)

平成23年中における自殺者の総数は30,651人で、前年に比べ1,039人(3.3%)減少した。
性別では、男性が20,955人で全体の68.4%を占めた。

2 年齢別状況(表2関係)

「60歳代」が5,547人で全体の18.1%を占め、次いで「50歳代」(5,375人、17.5%)、「40歳代」(5,053人、16.5%)、「30歳代」(4,455人、14.5%)の順となっている。

3 職業別(表3関係)

「無職者」が18,074人で全体の59.0%を占めて最も多く、次いで「被雇用者・勤め人」(8,207人、26.8%)、「自営業・家族従業者」(2,689人、8.8%)、「学生・生徒等」(1,029人、3.4%)の順となっており、この順位は前年と同じである。

4 原因・動機別状況(表4関係)

原因・動機が明らかなもののうち、その原因・動機が「健康問題」にあるものが14,621人で最も多く、次いで「経済・生活問題」(6,406人)、「家庭問題」(4,547人)、「勤務問題」(2,689人)の順となっており、この順位は前年と同じである。

注)平成19年に自殺統計原票を改正し、遺書等の自殺を裏付ける資料により明らかに推定できる原因・動機を3つまで計上することとしたため、原因・動機特定者の原因・動機別の和と原因・動機特定者数(22,581人)とは一致しない。